

2-2 土砂災害ハザードマップ

1 土砂災害ハザードマップとは

土砂災害ハザードマップは、大雨等によって、市内で想定される土砂災害、山地災害の危険区域を示したマップです。どちらも兵庫県により調査されたものに基づいて作成しています。

近年では、局地的に降る大雨により、土砂災害が全国で多発しています。土砂災害の多くは大雨によって引き起こされますが、局地的に降る大雨の事前予測は難しく、一瞬にして被害が発生してしまいます。

「もしも土砂災害が発生したら・・・」を想定し、どの程度の被害となるのか、発生しそうな時に何をすればよいのか、日頃から何に気を付けて備えておくべきなのかなどについて考えてみてください。



出典：財団法人消防科学センター
平成21年(2010年)7月
中国・九州北部豪雨 山口県防府市

2 土砂災害と山地災害

土砂災害の特徴と前兆現象

土石流



「土石流」は、大雨等をきっかけに谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合っただけとなり、谷を一気に流れ下りる現象です。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



「がけ崩れ」は、大雨等をきっかけに地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象です。

土砂災害の前兆現象として、どんなことが起きるの？

土砂災害の発生のおそれを知らせる「土砂災害警戒情報※」が発表されていなくても、右記のような前兆現象に気付いたら、すぐに安全な場所に避難し、市や警察、消防等に通報しましょう。

「無駄足でも構わない」くらいの気持ちで、すぐに避難しましょう。

※土砂災害警戒情報…大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象台と兵庫県から共同で発表されます。この情報が発表されたときは土砂災害が非常に起こりやすい状況ですので警戒を強めてください。



山地災害

山地災害の危険区域は、林野庁の「山地災害危険地区調査要領」に基づき調査した山林エリア(山腹崩壊危険地区および崩壊土砂流出危険地区)に、兵庫県が独自の基準で調査した被害想定を付加した区域です。

山腹崩壊危険区域……山腹崩壊による災害(落石による災害を含む)が発生するおそれがある区域

崩壊土砂流出危険区域…山腹崩壊や地すべりによって発生した土砂、または火山噴出物が土石流となって流出し、災害が発生するおそれがある区域

3 土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域(土石流・急傾斜地の崩壊)：兵庫県が調査した区域に基づいて作成(平成26年7月現在)
山腹崩壊危険区域・崩壊土砂流出危険区域：兵庫県が調査した区域に基づいて作成(平成25年3月現在)

